早稲田大学 大学院法学研究科
2024 年度 修士課程入学試験問題（一般入試）
【専修科目】

民事法学専攻

商法

次の各問から一問を選び、答えなさい。

1. 大規模な第三者割当増資により既存株主の持株比率が低下しうることについて、会社法および判例法理ではどのような規律がなされているか、それらの規律に対する学説上の議論なども踏まえつつ、説明しなさい。なお、証券取引所のルールなど、会社法以外のルールについて検討する必要はない。
2. 会社法上の大会社かつ公開会社である親会社の取締役による子会社の監督をめぐる法的問題について論じなさい。
3. 定期傭船された船舶が船員の過失により衝突した場合、商法 690 条の責任を負うのは船主であるか、それとも傭船者であるかの古典的な問題は、2018 年（平成 30 年）の商法改正により影響を受けるか。従来の議論の対立状況を簡潔に紹介した上で、自由に論じなさい。

答案の書き方（横書）

六法全書の使用を（認める）